

第2期総合戦略KPI進捗管理表

柱	KPI	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	6年度【目標】	回答依頼課	実績値へのコメント(過年実績値、目標値との比較・要因分析など)
子育て	出生数 単位:人/年	373	364	368	365	358	314	450	企画課集計	目標値には達成しなかった。出生数は各町別に見ても年々減少しており、市全体で見ても減少している。また出生数の減少については、宇城市だけでなく、日本の出生数も年々減少している。
	社会増減(25～44歳) 単位:人/年	68	-9	64	25	-18	27	0	企画課集計	目標値は達成した。この社会増減は各年度で「転入-転出」で算出している。市全体で見ると社会増減はプラスになっているが、元年度から各町別で見ると、三角町、不知火町、豊野町は減っており、特に三角町は年々女性が減っている。さらに転入転出の年齢層を確認したところ、進学や就職、結婚、子育て、転職時期の年齢層が流出していた。
生涯健康	健康づくり活動参加者数 単位:人/年	5,730	1,456	1,503	2,226	4,071	4,978	7,000	健康づくり推進課	N7～14行のKPI人数の合計数。詳細コメントは各項目参照。
	健康フェア 健康づくり推進課				300	766	1,511		健康づくり推進課	開催日 3/8-9(土日)健康フェア参加者数 1,511人(R5 766人) ※(宇城市内:53%801人、宇城市外:47%710人) Uki Kirariとの合同開催により、参加者は年々増加している。
	健康ウォーキング 健康づくり推進課	379				101	228		健康づくり推進課	桜十字×イオンモール共同イベント 8/24涼しく歩こう♪健康うきうきフェア 228名 コロナ禍から年々増加傾向にある。また、桜十字とイオンモールとの連携により、参加者は増加傾向にある。
	マタニティダイエット 健康づくり推進課	246	10	20	35	69	0		健康づくり推進課	ボディーターク指導員の高齢化により、事業の継続実施が困難になり実績なし。(指導員は旧松橋町で養成)
	おとこの料理教室 健康づくり推進課	307	109	101	177	256	273		健康づくり推進課	開催会場3箇所 開催26回 周知方法の拡大により、新規参加者の増加や参加年齢層の幅が広がった。アンケート評価から、参加者の満足度も高く、リピーターも増加している。
	大会・教室参加者数 スポーツ振興課	2,409	45	0	916	1,257	1,536		文化スポーツ課	コロナ前と比べるとまだ少ないものの、コロナの影響もなくなり参加者数は前年度と比較し、増加している。
	大会・教室参加者数 小川公民館								文化スポーツ課	
	大会・教室参加者数 豊野公民館								文化スポーツ課	
	大会・教室参加者数 B&G	2,389	1,292	1,382	798	1,622	1,430		文化スポーツ課	コロナの影響はなくなったものの、前年度から大会が減ったことにより、参加者数は微減となった。
	要介護認定率 単位:%以下/年	16.9	16.6	16.5	16.7	17.0	17.4	19	高齢介護課	これまで総合事業等の介護予防事業の取り組みにより認定率の上昇が抑えられてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響による総合事業の中止等により、重度化が顕在化し始めており認定率が上昇傾向にある。
都産市業	市民税額(現年) 単位:百万円/年	2,138	2,176	2,147	2,182	2,195	2,061	2,090	税務課	定額減税の実施に伴う減収となった。
	法人市民税額(現年) 単位:百万円/年	368	305	311	291	310	298	382	税務課	減収の主な要因は、資材高騰に伴う全国的な新規建設計画の延期や中止等により、製鉄・鉄鋼業界が減収となったことによるもの。
交観光	観光入込客数 単位:千人/年	1,880	1,450	1,466	1586	1,667	1,566	2200	商工観光課	宿泊施設や観光施設の年間利用者数
	魅力度ランキング 単位:県内14市中順位	13	10	11	13	13	12	10	企画課	市SNSのInstagramで46回投稿し、フォロワー数が4月当初の2,880人から約300人増加。また、熊本県内で発行される住宅メーカー雑誌に市の子育て施策のPRを2回掲載、市制20周年記念事業を6本実施し、番組や報道などを活用したことで、市のPRにつながったと推測。